

Xperia 1 II SO-51Aについて

Xperia 1 II SO-51A（以降はXperia 1 IIと表記）は、NTTドコモのAndroidスマートフォンです。NTTドコモの5G通信規格に対応しており、優れたカメラやオーディオ機能を搭載しています。



各部名称を覚える



1 ヘッドセット接続端子	8 スピーカー	14 RGB-C-IRセンサー
2 セカンドマイク	9 送話口／マイク	15 カメラレンズ（メインカメラ）
3 フロントカメラレンズ	10 音量キー／ズームキー	16 レーザー AFセンサー
4 受話口／スピーカー	11 電源キー／画面ロックキー／指紋センサー	17 ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口
5 近接／照度センサー	12 カメラキー	18 USB Type-C接続端子
6 通知LED	13 フラッシュ／フライト	
7 タッチスクリーン		

Xperia 1 IIの特徴

●トリプルレンズカメラ+3D iToFセンサー

超広角レンズ

風景などをより広く撮影することができます。16mm（35mm換算以下同）、約1220万画素／F値2.2／デュアルフォトダイオード。

望遠レンズ

遠くの被写体を鮮明に撮影することができます。70mm、約1220万画素／F値2.4／ハイブリッド手ブレ補正（光学式＋電子式）。

3D iToFセンサー

被写体までの距離を瞬時に測定することで、高速のオートフォーカスを実現しています。

標準レンズ

夜景や暗い場所でも綺麗に撮影することができます。24mm、約1220万画素／F値1.7／デュアルフォトダイオード／ハイブリッド手ブレ補正（光学式＋電子式）。



●21:9 マルチウィンドウとマルチウィンドウスイッチ



21:9の縦長画面を活かして2つのアプリを同時に表示。ニュースやYouTubeを見ながら情報を検索することができます。

マルチウィンドウは、上下それぞれのアプリの画面を横にスライドするだけで、かんたんにほかのアプリに切り替えられます。

情報を確認する

画面上部に表示されるステータスバーから、さまざまな情報を確認することができます。ここでは、通知される表示の確認方法や、通知を削除する方法を紹介します。



ステータスバーの見方



通知アイコン

不在着信や新着メール、実行中の作業などを通知するアイコンです。

ステータスアイコン

電波状態やバッテリー残量など、主にXperia 1 IIの状態を表すアイコンです。

通知アイコン		ステータスアイコン	
	新着ドコモメールあり		マナーモード（ミュート）設定中
	不在着信あり		マナーモード（バイブレーション）設定中
	伝言メモあり		Wi-Fi接続中
	新着+メッセージ／SMSあり		電波の状態
	データを受信／ダウンロード		バッテリー残量
	非表示の通知あり		Bluetooth接続中

通知を確認する

- ① メールや電話の通知、Xperia 1 IIの状態を確認したいときは、ステータスバーを下方向にドラッグします。



- ③ 通知パネルが閉じ、通知アイコンの表示も消えます（削除されない通知アイコンもあります）。なお、通知パネルを上方向にドラッグするか、をタップすることでも、通知パネルが閉じます。



- ② 通知パネルが表示されます。各項目の中から不在着信やメッセージの通知をタップすると、対応するアプリが起動します。ここでは<すべて消去>をタップします。



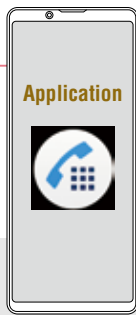
MEMO ロック画面での通知表示

スリープモード時に通知が届いた場合、ロック画面に通知内容が表示されます。ロック画面に通知を表示させたくない場合は、Sec.53を参照してください。



履歴を確認する

電話の発信や着信の履歴は、通話履歴画面で確認します。また、電話をかけ直したいときに発信履歴画面から発信したり、電話した理由をメッセージ（SMS）で送信したりすることもできます。

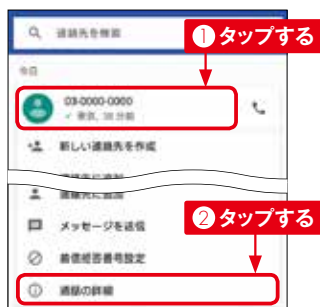


発信や着信の履歴を確認する

- 1 ホーム画面で電話アプリをタップして「電話」アプリを起動し、＜通話履歴＞をタップします。



- 2 通話の履歴を確認できます。履歴をタップして、＜通話の詳細＞をタップします。



- 3 通話の詳細を確認することができます。



履歴の削除

手順③の画面で＜削除＞をタップすると、履歴を削除できます。

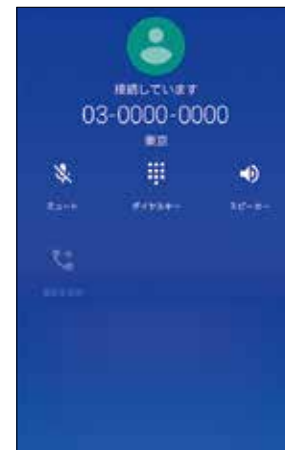


履歴から発信する

- 1 P.48手順①を参考に通話履歴画面を表示します。発信したい履歴の電話アイコンをタップします。



- 2 電話が発信されます。



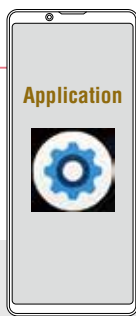
MEMO 電話した理由をメッセージ（SMS）で送信

相手が応答しなかった場合は、画面下部に「電話をした理由を伝えられます」と表示されるので、＜メッセージを送信＞をタップします。メッセージを候補から選んで入力するか、＜カスタムメッセージを入力＞に好きなメッセージを入力して、➡をタップすると、相手にメッセージ（SMS）が送信されます。



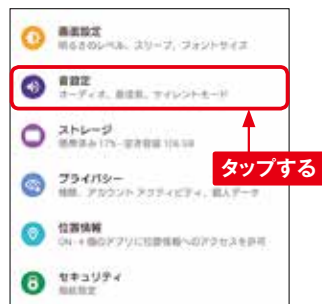
音やマナーモードを設定する

メールの通知音や電話の着信音は、「設定」アプリから変更することができます。また、マナーモードの設定などは、クイック設定ツールからワンタップで行うことができます。



通知音や着信音を変更する

- ① P.20を参考に「設定」アプリを起動して、＜音設定＞をタップします。



- ② 「音設定」画面が表示されるので、＜着信音＞または＜通知音＞をタップします。ここでは＜着信音＞をタップします。



- ③ 変更したい着信音をタップすると、着信音を確認することができます。＜OK＞をタップすると、着信音が変更されます。



MEMO 操作音などを設定する

手順②の画面で＜詳細設定＞をタップすると、「ダイヤルパッドの操作音」や「画面ロック音」などのシステム操作時の音、キーボード操作の音などのキータップ時の音の有効・無効を切り替えることができます。

音量を設定する

● 音量キーから設定する

- ① ロックを解除した状態で、音量キーを押すと、メディアの音量設定画面が表示されるので、スライダーをドラッグして、音量を設定します。**音**をタップします。



- ② 他の項目が表示され、ここから音量を設定することができます。



● 「設定」アプリから設定する

- ① P.60手順②の画面で、各項目のスライダーをドラッグして音量を調節することができます。



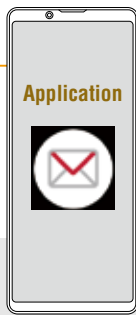
MEMO ダイナミックバイブレーション

Xperia 1 IIで音楽や動画やゲームを再生しているときに音量キーを押すと、音の大きさに応じて振動する「ダイナミックバイブレーション」機能の強弱を設定できます。この強弱設定は、再生するアプリごとに保存されます。



利用できるメールの種類

Xperia 1 IIでは、ドコモメール（@docomo.ne.jp）やSMS、+メッセージを利用できるほか、GmailおよびYahoo!メールなどのパソコンのメールも使えます。



ドコモメール

NTTドコモの提供するメールです。「@docomo.ne.jp」のアドレスが使えます。iモードと同じアドレスが使用可能です。



SMSと+メッセージ

相手の携帯電話番号宛にメッセージを送信します。従来のSMSとそれを拡張した+メッセージ（P.71 MEMO参照）を利用できます。



Gmail

Googleが提供するメールです。Xperia 1 IIにGoogleアカウントを設定すればすぐに利用できます。



PCメール

パソコンで使用しているメールが使えます。複数のメールアカウントを登録することも可能です。



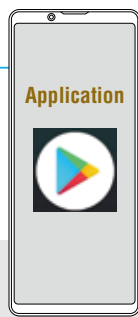
MEMO

+メッセージについて

+メッセージは、従来のSMSを拡張したものです。宛先に相手の携帯電話番号を指定するのはSMSと同じですが、文字だけしか送信できないSMSと異なり、スタンプや写真、動画などを送ることができます。ただし、SMSは相手を問わず利用できるのに対し、+メッセージは、相手も+メッセージを利用している場合のみやり取りが行えます。相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとして文字のみが送信されます。+メッセージは、NTTドコモ、au、ソフトバンクのAndroidスマートフォンとiPhoneで利用できます。

アプリをインストール・アンインストールする

Google Playで目的の無料アプリを見つけたら、インストールしてみましょう。なお、不要になったアプリは、Google Playからアンインストール（削除）できます。



アプリをインストールする

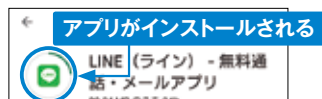
- Google Playでアプリの詳細画面を表示し（P.95手順⑥～⑦参照）、＜インストール＞をタップします。



- 初回は「アカウント設定の完了」画面が表示されるので、＜次へ＞をタップします。支払い方法の選択では＜スキップ＞をタップします。



- アプリのダウンロードとインストールが開始されます。



- アプリのインストールが完了します。アプリを起動するには、＜開く＞をタップするか、ホーム画面に追加されたアイコンをタップします。



MEMO アプリの自動更新を停止する

初期設定では、Wi-Fi接続時にアプリが自動更新されるようになっています。自動更新しないように設定するには、P.97左側の手順①の画面で＜設定＞→＜アプリの自動更新＞の順にタップし、＜アプリを自動更新しない＞をタップします。

アプリをアップデート（更新）／アンインストールする

● アップデート（更新）する

- 「Google Play」画面の左端から中央に向けてフリックし、表示されるメニューの＜マイアプリ&ゲーム＞をタップします。



- アップデート可能なアプリがある場合、「アップデート保留中」に一覧が表示されます。＜すべて更新＞をタップすると、アプリが一括でアップデートされます。



MEMO ドコモのアプリのアップデートとアンインストール

NTTドコモで提供されているアプリは、上記の方法ではアップデートやアンインストールが行えないことがあります。その場合は、P.113やP.155を参照してください。

● アンインストールする

- 「マイアプリ&ゲーム」画面で＜インストール済み＞をタップし、アンインストールしたいアプリをタップします。

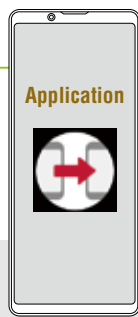


- アプリの詳細が表示されます。＜アンインストール＞をタップし、＜OK＞をタップするとアンインストールされます。このとき、削除理由のアンケートが表示される場合があります。



ドコモデータコピーを 利用する

ドコモデータコピーでは、電話帳やスケジュールなどのデータをmicroSDカードに保存できます。データが不意に消えてしまったときや、機種変更するときにすぐにデータを戻すことができます。

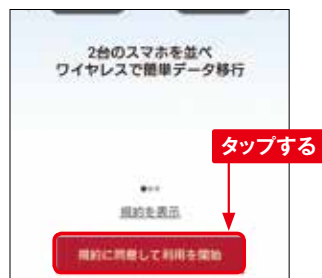


ドコモデータコピーでデータをバックアップする

- ① あらかじめmicroSDカードを挿入しておき、P.20を参考に「アプリフォルダ」画面で＜データコピー＞をタップします。表示されていない場合は、P.113を参考にアプリをアップデートします。



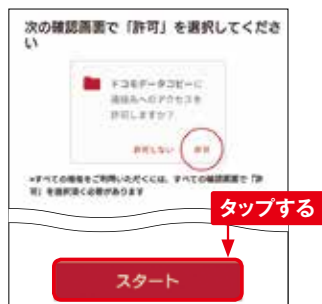
- ② 初回起動時に「ドコモデータコピー」画面が表示された場合は、＜規約に同意して利用を開始＞をタップします。



- ③ 「ドコモデータコピー」画面で＜バックアップ&復元＞をタップします。



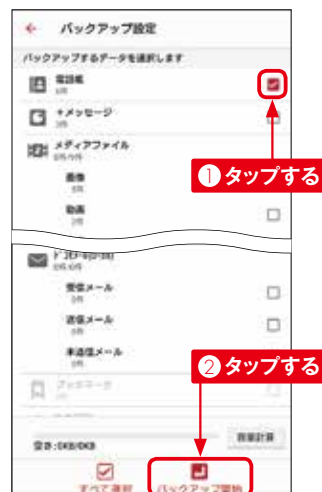
- ④ 「アクセス許可」画面が表示されたら＜スタート＞をタップし、＜許可＞を6回タップして進みます。



- ⑤ ＜バックアップ＞をタップします。



- ⑥ 「バックアップ設定」画面でバックアップする項目をタップしてチェックを付け、＜バックアップ開始＞をタップします。



- ⑦ 「確認」画面で＜開始する＞をタップします。

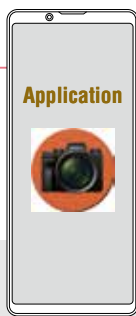


- ⑧ バックアップが完了したら、＜トップに戻る＞をタップします。



「Photo Pro」で 写真を撮影する

本体ソフトウェアの更新により、ミラーレス一眼並みの機能を持つ「Photo Pro」アプリが利用できます。通知のお知らせから、またはSec.74を参考に手動で本体ソフトウェアを更新してください。



写真を撮影する

1 本体ソフトウェア更新後、ホーム画面で「Photo Pro」をタップします。初回は「許可」画面や案内が表示されるので、画面の案内に従って操作します。



2 「Photo Pro」アプリが起動したら、レンズを被写体に向けてカメラキーを押すと、写真が撮影できます。なお、カメラキーは半押しにすることで、明るさ（AE）とフォーカス（AF）を固定することができます。画面をピンチ、もしくは音量キー／ズームキーでズームの調整ができます。



3 画面左端から右、もしくは右端から左にスワイプすると、キーアイコンが表示されるので、やをタップすると、「Photo Pro」アプリを終了することができます。



「Photo Pro」アプリの画面の見かた



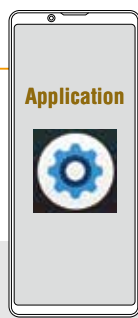
1	撮影モード。Auto（オート）、P（プログラムオート）、S（シャッタースピード優先）、M（マニュアル露出）が選択できます。	13	フォーカスモード。オートフォーカスの種類や、マニュアルフォーカスを選択できます。
2	設定メニューが表示されます。	14	フォーカスエリア。ピント合わせの位置を変更できます。
3	ヒストグラムと水準器が表示されます。	15	露出補正。9で設定した露出補正值が表示されます。
4	レンズ切り替え。超広角（16mm）、標準（24mm）、望遠（70mm）が選択できます。	16	ISO感度。ISO感度を設定できます。
5	直前に撮影した写真がサムネイルで表示されます。	17	測光モード。測光方法を変更できます。
6	空き容量と現在の解像度が表示されます。	18	フラッシュモード。フラッシュの発光方法を設定できます。
7	バッテリーの容量が表示されます。	19	ホワイトバランス。オート(AWB)/曇天/太陽光/蛍光灯/電球/日陰に加えて、カスタムホワイトバランスを3つ設定できます。
8	現在の設定が表示されます。	20	顔検出/瞳AF設定。顔検出/瞳AF設定のオン/オフが設定できます。
9	を左右にドラッグして露出補正の値を設定できます。	21	LOCK。誤操作防止のために設定をロックできます。
10	AFを固定します。		
11	露出を固定します。		
12	ドライブモード。「連写」「セルフタイマー」などの撮影方法を指定できます。		

MEMO 「Photo Pro」アプリでできること

上記のように、「Photo Pro」は、本格的なカメラ並みのきめ細かいマニュアル設定ができるアプリです。また、「Photo Pro」アプリを使うことで、「カメラ」アプリではできない、最高20コマ/秒のAF/AE追従高速連写が可能になります。

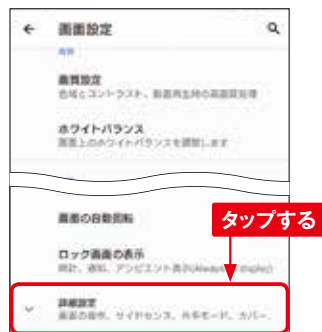
サイドセンスで操作を快適にする

Xperia 1 IIには、「サイドセンス」という機能があります。画面の左右側面をダブルタップしてメニューを表示したり、スライドしてバック操作を行ったりすることが可能です。



サイドセンスをオンにする

- ① P.20を参考に「設定」アプリを起動し、＜画面設定＞→＜詳細設定＞の順にタップします。



- ② ＜サイドセンス＞をタップします。



- ③ ＜ON＞になっているか確認します。＜OFF＞になっている場合はタップして、をにします。



サイドセンスの動作設定

手順③の画面で＜操作性＞をタップすると、ダブルタップの感度などを調整できます。また、＜操作位置の設定＞をタップすると、ダブルタップが有効な範囲の変更が可能です。

サイドセンスを利用する

- ① 画面外側の縁を、画面に対して45度の角度でダブルタップします。なお、ダブルタップが有効な範囲については、P.166MEMOを参照してください。初回は＜始める＞をタップします。



- ② サイドセンスメニューが表示されます。上下にドラッグして位置を調節し、起動したいアプリ（ここでは＜設定＞）をタップします。



- ③ タップしたアプリが起動します。



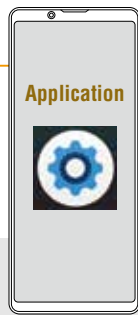
MEMO サイドセンスの そのほかの機能

手順②の画面に表示されるサイドセンスメニューには、使用状況から予測されたアプリが自動的に一覧表示されます。そのほか、画面の外側の縁を下方向にスライドするとバック操作（直前の画面に戻る操作）になり、上方向にスライドすると「21:9マルチウィンドウ」メニュー（Sec.08参照）を表示します。



本体ソフトウェアを アップデートする

本体のソフトウェアは更新が提供される場合があります。ソフトウェアアップデートを行う際は、事前にSec.41を参考にデータのバックアップを行っておきましょう。



ソフトウェアアップデートを確認する

- ① P.20を参考に「設定」アプリを起動し、＜システム＞をタップします。



- ② ＜詳細設定＞をタップします。



- ③ ＜システムアップデート＞をタップします。



- ④ アップデートがある場合は、＜再開＞をタップするとダウンロードとインストールが行われます。

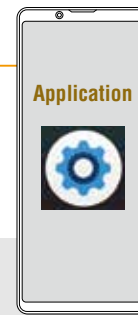


MEMO ソニー製アプリの更新

一部のソニー製アプリは、Google Playでは更新できません。手順③の画面で＜アプリケーション更新＞をタップすると更新可能なアプリが表示されるので、＜インストール＞→＜OK＞の順にタップして更新します。

初期化する

動作が不安定なときは、初期化すると改善する場合があります。なお、重要なデータはSec.41を参照して事前にバックアップを行っておきましょう。

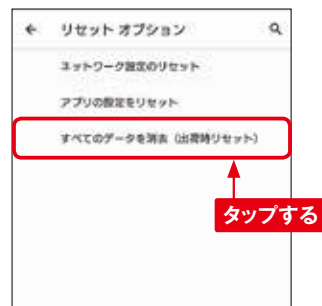


工場出荷状態に初期化する

- ① P.188手順③の画面で、＜リセットオプション＞をタップします。



- ② ＜すべてのデータを消去＞をタップします。



- ③ メッセージを確認して、＜すべてのデータを消去＞をタップします。



- ④ ＜すべてのデータを消去＞をタップすると、初期化されます。

